

ふくはら幼稚園だより（2月号）



学校法人ふくはら幼稚園

令和8年1月30日発行

目指す園児像 “明るく元気でのびのびした子ども”

園児数35名（3クラス） 教職員数12名 川越市今福1780-5 Tel 243-4216・4268

園児を支えあたたかく見守る

園長 山下 道夫



左の写真は、昨年末に地域の方より頂き、ゆうぎ室西側の花壇に根付いているシロタエギクです。この花の花言葉は、「あなたを支える」「穏やか」が代表的です。園では、2月におん

がく会、3月に卒園式・修了式と晴れの舞台が続きますが、この花は園児の傍でやさしく支え応援してくれるものと思います。

さて、先月16日には、震度5弱以上の地震を想定し避難訓練・引き渡し訓練を実施しました。午



前の避難訓練では、緊急地震速報音を耳にした園児たちは素早く防災頭巾をかぶり机の下で身の安全を守っていました。その後、「お・か・

し・も・ち」を意識して整然と避難場所へ移動することができました。これまでの避難訓練での学びが生かされた行動となりました。



午後の引き渡し訓練は、1時にメール配信しましたが、ほぼ全員の保護者の方から開封通知を頂くことができました。このような緊急事態では、保護者様にメールが確実に届いているかが大変気になるところです。素早く開封通知を頂けたことに改めて感謝申し上げます。そして、皆様のご



協力で担任からの引き渡しもスムーズでした。このような事態は起きてほしくないのですが、今回の訓練で保護

者の皆様に安全かつ確実に引き渡せることが分かり職員一同安心したところです。

大寒の20日は、暦のとおり厳しい寒さとなりましたが公開保育を実施しました。主活動は、もも組が「壁面『おぞうに』」、たんぽぽ組が「こま



製作」、ゆり組が「すいすい遊び」でしたが、どのクラスの園児も強い関心を持って教員の話に耳を傾け、よく考え自らの作品作りに没頭していました。教員も一人一人のよさに着目し声をかけていましたので、園児

は満足感・達成感を味わったことと思います。保護者の皆様には暖かな眼差しでご参観いただきありがとうございました。



園児は今、2月7日のおんがく会に向け、全学年で、またクラス毎にめあてを持って歌や合奏の練習に取り組んでいます。思うように楽器が扱えず困っている園児には教員が個別にやさしく支援しています。ご家庭でも励ましのお声かけをよろしくお願いいたします。

小江戸子育てフォーラムに参加して

1月19日に川越西文化会館で小江戸子育てフォーラムが開催されました。西武学園小・中・高等学校のマルケス ペドロ校長先生が『子どものよさ・可能性を生かす幼児教育』というテーマでご講演してくださいましたが、大変示唆に富むものでした。急激に変化する社会に生きる今の子どもたちが、20年後に就く職業は65%が現在存在しないものだそうです。そして、生まれた時からスマホやタブレットに接している子どもたちは私たちよりずっとデジタルに強いのですが、「孤独感」や「人間関係不足」「ストレスや逆境に弱い」という課題を抱えていますので、「帰属意識」や「人間関係を基にした学習・体験型学習」「失敗してもよい環境づくり」が今後の教育に求められる、ということでした。今後の教育に生かしていきたいと思います。「参加してよかった。」という声を参加下さった当園の保護者様からも頂いています。

裏面は、「2月・3月の行事予定」です